

未来型図書館つながるミーティング

～本づくりワークショップから図書館を構想しよう～

【第1回 開催報告】

1

開催概要

- 日時 : 2022年7月31日（日）13:30～16:00
- 開催場所 : 第一地区コミュニティセンター
- 参加者 : 54名
(20代～80代まで幅広い年齢層、
職種のみなさんにご参加いただきました)



2

プログラム

1. 挨拶（宮橋市長、平賀座長）
2. オリエンテーション
3. グループ対話
(アイスブレイク、対話①、中間報告・テーマ設定、対話②)
4. 全体共有
5. まとめ



思いをテーブルにのせ
テーマを設定しよう！

3

対話内容

対話1 それぞれの思いを共有しよう

「未来型図書館」ができることで、小松市というまちで、
自分がどんなことが出来るようになるといいか

共有しよう

対話2 テーマについてさらに掘り下げよう

関心のあるテーマのもとで

「未来型図書館」と小松市にどんな可能性があるか

考えよう

対話結果（対話①）

対話1 「「未来型図書館」ができることで、小松市というまちで、自分がどんなことが出来るようになるといいか」

グループA

リラックス

- すてきな椅子
- 自然の中でのんびり
- 小松の自然で子どもたちが遊べる時間・場所
- 休日をゆっくり過ごせる
- のんびりくつろぎたい

出会い

- ワクワク！！出会い・探索（人・学び）
- ワクワクする
- 交流の幅を広げていきたい
- 話、趣味のあう友達ができる！
- 年齢を超えたつながりができるスペースであってほしい（が欲しい）
- 外国の方との交流ができるようになればいいと思う
- 自分史を広く読まれるように

つながり

- ワクワク！！交流コミュニティ（イベント）
- 人とのつながり（勉強でも子育てでも）
- 相談できるつながりを持ちたい
- 様々な人・コトとつながる
- D&I

課題発見&解決（みんなで）

- お互いの強みで支え合う
- ちょっとした趣味もお披露目して教えられる場所が欲しい
- 介護についてできるだけいろんな方と共有する場が欲しい
- 問題解決
- 子育てがしやすくなる
- 子どもが本を好きになる
- 休日を家族で過ごす身近な場所（他の市に行かずに）

場所・機能

- 会議
- 分散図書館
- ミニコンサート、ミニ朗読会
- 集中スペース
- アクセス（バス・駐車場）

学び

- 成長し続ける、学び合う
- 新しい媒体での本との出会い
- 小松の過去（室町時代以前）のひとの暮らしを知りたい

グループB ※グループで挙げた各テーマにこちらで分類

自分らしさ

- リラックスしながら仕事ができる
- 自分たちでイベントの企画をしたい
- 展覧会
- 毎日行く場所
- ぼーっとする？
- 目的なくいられる

- イベントする時に借りたい

障害福祉

- 聴覚障害児の父兄にアドバイスをしてあげたい
- 自分の力を役にたたせる、活かせる場
- 知る・学ぶ・活かすのサイクル

高齢福祉

- 高齢者が気軽に困りごとを頼めるような支援体制づくり
- シルバーいきいきクラブ活動

モノづくり

- ものづくりとかに取り組める場所（工房・アトリエ）
- 作品などの発表の場
- アイデアを生み出す

多世代交流

- （今はムリだが）小松市のいろんな方々のお話を聞き書き作品としてまとめて図書館に陳列したい
- いろんな年代の人とつながってワクワクするような楽しいことをやりたい
- 読み聞かせ活動をもっとたくさんの仲間とやりたい
- 様々な世代・職種の人たちとつながりたい！
- 人と出会える
- 新しい知識や人、自分との出会いがある

（学校）教育

- PTA活動をやっている小学校の児童へ良い本を紹介したい

- 市内の全小学生卒業の際に、文集を書いてもらって未来型図書館に陳列したい
- 市内の全中学生に小説を創作してもらい図書館に陳列したい
- 市内の同じ学年の児童のつながりの場をつくりオリジナル教科書を作りたい
- 気軽に新しいことが学べる／体験できる

都市計画

- 住民主体のまちづくり
- 世界に一つしかない
- 50～100年先ビジョン、こまつのまちが新しくなる
- 積み立て方式で充実させていく
- 図書館が生活を変える意欲改革に
- 楽しい・美しい

人々の出会い

- 沢山の同じ思いを持った人と出会う

遊び（健全な）

- 小中学生もスマートフォンが中心の子どもの生活を脱却したい
- 子どもと遊べる（目的地）

ビジネス機能向上

- ポップアップショップ
- チャレンジショップ（カフェなど）
- まちの団体さんなどの情報を得る
- 最新の技術に触れる

小松の歴史文化

- 自分の生まれた街の歴史・文化・言葉・習慣を改めて認識したい
- 小松の生んだ人の発掘を図書館を媒介に広く伝えたい
- 他市・町に誇れる小松市、人、モノ、文化
- モノづくりの小松市を再認識

グループC

★未来型（C）

つなぐ（コミュニティ）

- 文化体験（お茶、陶芸とか）ができる
- 小松の郷土料理とか本に出てきたことを実際に作ったりできる
- （講座）レクチャールーム
- 情報収集、市民活動、文化、スポーツ
- 図書館デートがしたい
- 介護を支えるのが助け合える
- 年代関係なく交流ができるといいです
- 世代地域を超えた人たちとつながる場所、イベントなどどんどんやってほしい

目的（コミュニティ）

- 今までの自分と違うジャンルの人たちとつながりたい
- 色々な講演会、ジャンル問わない、開いてほしい
- 仕事終わりに気軽に行ける場所が欲しい
- 色々な人との出会いがあるまち
- 楽しい時間を過ごせる場所になってほしい

スペース（機能）

- 打ち合わせ、やり方、まちづくり
- もっと広い駐車場
- 小松の特産品を利用したカフェ
- 調理室

- ワークスペース
- 簡単な集まりの場所、ミーティング
- みどり号（防災、お年寄り見守り）
- 景色のいい場所でゆっくりお茶をしながら過ごしたい
- 返却boxがいろんなところにあるといい。イオンとか
- 遊ぶことのできる公園
- 個人個人の空間も大切にする

★従来型

子育て

- 子育てのお手伝い
- 絵本に出てくるお菓子を実際に作れる
- 子育て動画を見る
- 寝ころべる部屋
- 子育て中のお母さんたちが入りやすい空間
- 子どもたちが壁とかに自由にお絵描きできるスペースがあったらいい

- 孫たちと休日過ごす場所、気軽に子どもと行ける図書館

情報

- 電子図書館が欲しい
- 知的好奇心。自分の知らない部分を発見したい
- 「知りたいこと」「勉強したいこと」の関連を幅広く知ることが出来る
- どこに何があるかわかりやすいまち
- 新聞読む

- 歴史を知る「絵や映像で」と「ゆかりの場所」と行き方
- 「やりたいこと」から資料を集める
- 外で本を読める
- 調べもの
- 読みたいときに読みたい本がある

グループD

施設

- カフェでリラックスして、本読んでリラックスのルーティン
- 自分が考えたものをすぐにつくれる（ものづくり）の機能
- 複合施設にする。または、複合施設や観光地に近いところで完結させないようにする
- 木場潟周辺にできたらいいなあ。歩いた後にシャワーあるといい
- 地域の食材やグルメを知り食べたり、飲んだりできる
- ものを買ったり体験したり、一日楽しく過ごせる
- 屋上で本も読めるサウナ付き図書館
- 仕事に疲れたときにリフレッシュできる

出会い・つながり

- 各いろいろなサークルが発表できる場所が欲しいです
- 引きこもりのお年寄りの方が気軽に集まれる場所があったらと思います
- 若い人達が集まる場所がいまはTSUTAYAぐらいだと思うので、小松にもっと若者が出会う場所が欲しいです
- 行けば誰か知り合いがいる。知り合いが出来る場所に

- 市外の人が小松のことを知ることが出来る
- 自分の知識やスキルを子どもや人に伝えることが出来る
- シニア（特に男性）がつながれる
- 健康について知識を深める高齢社会を”元気で長生きする”ために
- 人とのつながり、チームワーク、特に年代を超えて
- 子育て中の親の悩みとかを話し合える場所があるといいと思います
- イベントなど「何かしたい」と思ったときの集える場所

過ごし方

- 休日を一日完結させることができる
- 家族（子ども）と一緒に遊ぶ

文化・観光

- 図書館を友人に自慢する
- 観光スポットの一つとする
- まちの歴史・文化等を知る事

娯楽

- 料理ができる
- 世界のビールが飲める（小松空港を活かす）
- 日本酒が飲める（酒どころ）試飲コーナー

ビジネス

- PCや書類等の仕事ができる
- 会議ができる
- 若者や企業、先生、行政等様々な人と交流できる
- 商工会議所が担っているものを土日に使えるといい
- 商売のために知識を学ぶ場。魅力ある企業が増えれば若者が出ていかない
- いろんな人と出会って可能性が広がる（ビジネス・人生）
- 快適な空間で仕事や勉強をしたい

※「ビジネス」と「出会い・つながり」をつないで

- 新しいスタートを考えられる（セカンドキャリア）

グループE

人とのつながりが生まれる

- 余暇の時間を豊かにできる
- 人と人をつなげる立場
- 新しい人と出会う
- 人と知り合う
- 共通の趣味を持つ人と出会いたい
- 趣味・興味を深掘りする
- 犬を連れて散歩がてらに来る人のためのドッグラン

障害者も参加

- インクルーシブな社会のお手伝い
- 障害者の方と自然に触れあう環境

様々なイベント、テーマに参加

- ピアノ・バイオリン、ミニコンサート
- 合唱サークルでいろんな人をうたいたい
- 登山情報をもっと知って山を楽しみたい

- 様々な活動の「場」を提供してくれる
- 刺激があることをケイキにつなげる
- イベント（おいしいもの）
- 海外文化に触れる（art、music、生活様式）
- 生活に役立つ学びができる機会を持ちたい

若者の利用（会館時間など）

- 集中して勉強できる
- 夜の開館

高齢者の参画

- 積極的に外出する
- これから年齢を重ねるが、交通手段が便利になるよう
- 異世代交流
- 郷土料理がつかれるようになりたい
- 健康体操
- 高齢者が来たくるように
- お年寄りとの交流のサークル

（図書館を拠点としたまちづくり）

- 小松市民以外からもうらやましくなれるように
- 図書館が拠点となり、街並みが新しくなり、図書館の周りにある飲食ショップ等新しく友達と集える場所として利用したい
- デザインの優れたものに囲まれるように

（情報・知識）

- 未知の情報や人々に出会える
- 小松のいろいろな資源をまとめて知ることが出来る
- 新しい知識を身につける

（エンタメ要素）

- 家よりも立派な施設で映像を楽しめる
- ナイトシアター

グループF

本という知識・知恵とのふれあい

- デジタル化
- 良い音響で本を聞くことが出来る
- いろんなことを知りたい、学びたい
- 小松のことがわかる、知ることが出来る
- この年になると、“小松”に対していろいろ知りたい

くつろぎの空間・カフェ・集いの場・音楽・映画など

- ちょっとブレイク、カフェスペース
- くつろいでゆったりできる、食べながら飲みながら
- 人が集える場、若者→まんが図書館、成人1→カ

- フェバー、成人2→趣味・サークル
- 駅の近くで暇をつぶせる待ち合わせetcも
- Cafe、九谷焼、塗り物など伝統的なものに携わる若い世代の応援ができる
- くつろげる場、ゆったりリラックス
- 小さくても良いから映画を見れるようなホール
- 若い世代が交流できる、促す役割
- 自由に散歩できる
- おしゃべりをしていても良い空間もあるとよいな
- 行きやすい場所
- 市民に開放できるスペースがあるとよいな
- 健康増進の役割、身体と心の健康
- 仕事が終わってからでもあいている夜の図書館いいなあ
- 障害のあるひとにも使いやすく
- 本に囲まれて過ごす時間は幸せ

- 24時間本と自由なかたちで過ごせる
- 市民が発表できるスペース

イベント（いろんな交流、体験、発表）

- 本の交換ができる
- 趣味で出会い、集える場、習い事というより教え合えるスペース
- 本を通じて人が出会える
- イベント（いろいろな）
- 人的交流（出会い）
- LIVE
- ラジオ。サテライトで配信

- アバターで出かけられるとか
- マルシェの開催
- 自分・それぞれの人が自分を表現できて、学び合える。貸本棚や映画や歌、話が発表できる小さいホールのようなもの
- 生涯学習（学ばイベントの場）ワイワイ人が集まる
- 本を通して人やものとの出会いがある。本はひとつのアイテム
- 常にイベントをやっている
- まちの中で起こっていることを発信できる

- 音楽イベント、プロからアマまで
- 月一の手話カフェ、英語カフェ、ポルトガル語カフェ
- イベントで市民が自己表現

その他行政、起業、学生と交流ができる

- 広い駐車場
- 稚松小学校の複合施設の一部になればうれしい
- 家でも本を選べる（デジタル）
- 町ライブラリーや学校図書館ともつながれる

- 小松には町家文庫がある
- まちづくり活動の拠点として議論する場。課題→行動
- 企業も参加、応援できる
- 図書館にこだわらない施設、図書館らしくないのが魅力
- 学生たちが過ごせるところ
- 行政と市民活動マッチングする場、共働・協働のシンボル

グループG

つながり・交流

- 0～100歳交流したい
- 知らない人とつながる
- いろんな世代や旅人も楽しめる句会（俳句）のイベントがあったらいい
- 世代を超えて市民がつながれる場所にしたい
- もっといろんな「やりたい！」を持っている人とつながりたい
- シリーさんみたいに検索名人になりたい

知恵の共有

- お互いに持っている知恵を知り合い、助け合えるようにしたい
- 困っている人と助けられる人のマッチングがちゃんと起きる

- 自分の本をつくる

訪れる人にやさしい

- 空間についてアイデアを出す
- VR
- 実際に来られない人にも寄りそう
- ボランティア
- 障がいを持った人への空間
- クール、ウォームシェアをしたい
- 身体的能力が衰えたときもいける場所にしたい

小松を知る、小松を発信する

- 小松の街なかで何か興味を持ったときに、本だけでなくいろんな人が出会える場所にしたい
- 小松の歩いて楽しい絶景地図を作る

- 小松市のよいところを発見する
- 図書館と地域の各所をつなげて、いいところをいっぱい訪れたい
- 小松の魅力を知り、小松を好きになる
- 小松の魅力を発信できる場所にしたい
- 住んでいる町の出来事が知りたい
- 純粋に日常を生きることを楽しめるようになりたい！！
- 都会の人が本気で憧れるライフスタイル実現のまち
- 住んでいる町のイベントが知りたい
- 終活したい
- 小松のなかで衣食住などが完結する！！

グループH

健康

- 骨密度測定器があるとよい
- 保健師・管理栄養士さんなどからアドバイスがあればなお良い
- 病院に行くまでもないけど、身体の相談が気軽に

できるといいな

- スポーツジムと隣接

癒し

- 癒しの場

- 用がなくても行きたい
- 隣に温泉とサウナがあってリラックスできる
- 新しい本や小説がすぐ読めるようになりたい

アクセス

- バス停が近くにある

やりたい事

- チャレンジ！
- 色々な仕事について、学び知る場が欲しい
- ドームハウスのつくり方を知りたい
- 音楽（演奏）ができるといいな
- 人生の集大成をしたい
- 農業の知識が欲しい

- いろんなものを手作りできるようになりたい

小松について

- 地元の歴史を知るために自分の知識を入れる
- 小松の言葉を知りたい
- 小松市の歴史・文化を知る・わかる
- 小松でとれる魚にはどんなものがあるのか
- 小松の土砂災害とか山の現状について知りたい

設備

- 総合文化施設（図+美+博）
- 展覧会等イベントを招致できる
- Wi-Fiインターネット無料使用
- 会合や打ち合わせができるとよい
- 書物にこだわらず大型ディスプレイ、壁一面の検索モニター
- 自動貸し出し機を用いて本・DVDが借りられる
- 託児所として使用できる
- おしゃれ、はいからなカフェ
- 新しい確かな情報を得たい

5

テーマ設定

対話①で整理した内容をもとに、対話②に向けて話し合うテーマを以下のように設定しました。

グループ①	グループ②	グループ③	グループ④
過ごし方、場、空間のあり方	小松を知る、小松を発信する (人、モノ、コト)	本×デジタル、情報の検索・探索	社会参加、課題発見・課題解決
グループ⑤	グループ⑥	グループ⑦	グループ⑧
情報をつくる、情報からつくる	出会い、交流、つながり	ダイバーシティ、インクルーシブ (多様性、社会包摂)	新しいスタート、チャレンジ

対話結果（対話②）

対話2 関心のあるテーマのもとで「未来型図書館」と小松市にどんな可能性があるか

グループ①「過ごし方、場、空間のあり方」

- セミナー、会議
- 高齢者・健康
- 空間が豊かである
- 学生が勉強している、年配者がなんとなく過ごしている、本を調べている → 多様な過ごし方がある
- ジム、温泉、サウナ
- 点字ブロック、音声ガイド、車イス用トイレ
- リラックス
- 休日をゆっくり過ごす
- 書店では、ブックランキングがあって参考になる
- 1人でも家族で来ても快適で寛げる（それぞれにスペースがある）
- ビジネス利用、土日にセミナー
- 過ごし方、子育て世代にやさしい。すべての世代…。若者が出ていかない
- 過ごし方、特に用がなくてもふらっと行ける場所であつたらいい
- 子どもが遊べる場所
- 緑があって環境が良い
- 絵本
- 集中して仕事や勉強ができる場所
- 掘りごたつ（子どもを抱っこして読み聞かせる、足腰の弱い人用）
- 会議
- 仕事
- 一人でも楽しめる
- 民間の店舗を入れることで（チャレンジショップ的に）創業支援
- 目的がなくても過ごすことができる

グループ②「小松を知る、小松を発信する（人、モノ、コト）」

- 何故安宅、何故勸進帳
- 安宅（能、勸進帳）、市民が知らない
- 小松の人が説明できない（発信するものがある）
- 工芸（作品展をやると作家さんがいることがわかる）
- 郷土資料館があれば（ない）図書館でなくても良い
- 歴史がわかる、つながりができる（いろんな施設がある）、文化財
- テーマ配架は小松の特色を（工芸、芸術、歴史、文化）
- 図書館が入口⇒本、展示、映像
- 情報のハブに
- 小松の魅力を発信できるのが小松市の図書館（歴史、文化）
- 行きたくてもいけない（アクセス面）

グループ③「本×デジタル、情報の検索・探索」

- デジタル、今日習ったことでもついていけない。質問すらわからず難しくなっている
- 町の歴史、情報、正確な情報がわからない
- この本とこの本を選んだらこんな本が好みでない、コンシェルジュ
- 対話式、使い方を教えて欲しい
- 道案内、AIのコンシェルジュ型で
- 正確な情報をどう得るかチェック機能
- 対話式、簡単に！
- 正確な情報チェック機能
- 図書館では正確さが必要では
- チェックをどうしたらよいか
- VRでコンシェルジュ、アバターで
- 案内、説明してくれる人
- デジタルでなければ、本に関わって、キャッシュレス
- デジタル、PC、ロボットのなもので対話、3D
- 自動で本を持ってきてくれる
- アバターと対話
- VR、スマートグラス、受付ロボット
- くわしい人も教えてくれる
- 本の中身も探索
- 小松市の情報を集める

グループ④「社会参加、課題発見・課題解決」

- 図書館を通じて人とのつながり
- 小松らしさ、小松の好きなところを伸ばす
- 対話の機会、同じ目的
- 若い人の参画（興味を持つ）
- 自分がやりたいこと、できること
- 自分たちで解決する意識
- 課題を投げかけて良い
- 投げかける場所
- NPOセンター、市役所、公民館
- アイデアを実現できる
- 思いや情報が集まる場所
- マッチングさせる
- 交流が起こる仕掛け
- つながり、交流、イベント
- 学んだ知識を生かしたい人
- 課題発見のランドマーク
- 若い人の参画を期待
- 自分たちで解決しようとする意識
- 市民で運営
- 情報収集マッチング
- 課題共有→共感

グループ⑤「情報をつくる、情報からつくる」

- 動を発信できる場づくり（個人活動応援）
- 共有するもの
- まち全体が図書館※未来型図書館はあくまで基地
→未来型図書館はハブ
→（あるもの）実は色んな人がいろんな活動を一生懸命やっている！！→見える化！！
→（足りないもの）ムーブメントになる活動をつなげること⇒これこそやるべきこと！？
- 年配の知恵袋を引き出す工夫
- まちづくり系 カネダさん、ヒノさん 子ども食堂
- オープンイノベーション（参画して課題解決へ）
- お互いの”やりたい”を発信&対話し合える場づくり※セクターを超えて
- 一つのアアイデアを行動につなげるコーディネート機能
- 自由研究、読書感想文、工作。市内の学生の作品
- 面接のコツ
- 悩み、子育て、介護…
- 自己表現のやり方、知識を知ることが出来る
- 寺子屋
- みんなが教え、教わる（偉い先生からではなく）
- （コマネーの）オープンイノベーション（参画して課題解決へ）
- 棚貸しの図書館、まちライブラリー

グループ⑥「出会い、交流、つながり」

- 掲示板で困った人が書く
- 自然に会話、相談ができるばしょがいいなあ
- 発信の出会い（自分にできること、伝えたいこと発信）
- 温泉みかん、自分を発信できる小さい本棚（月で貸す）、売ったり、貸したり、手作りの物、発信できる。そばにテーブルがあっておしゃべり
- インターネットラジオで自分を発信
- おばあちゃんの料理教室（子供 てて）
- 映画、音楽、ミニ講演
- Cafeで出会う（月1）手話カフェ、英語カフェ、ポルトガル語カフェ、国際交流
- マジックとか、お笑いとか、楽しく笑わせてくれる人が来てくれる
- 助け合う出会い
- 家族みんなで関われる
- 大人と大人、若者と壮年代、お互いに助け合うこと
- 教えてほしい人 教えたい人、つなげる場
- 趣味つくりながらいろんな年代の人が出会う。教室とかでなく
- 昔の小松を知っている人と新しい住民との交流
- 一人暮らしのお年寄りの出会える場所（交通の便が良くないといけない）

ラブな出会い

- 若い人たちが共通の趣味の話をしたりする出会いの場
- 若い男女の出会い、人口増やす

仕事

- 製造業とか、いろんな業種を体験できるワークショップ（子供、学生）
- 異業種間での交流、助け合い
- 田んぼをやっている人との出会い
- 自然いっぱい的小松で吟行（外で俳句を作る）イベントができればよい

- 企業通しBtoB商談スペース
- マルシェで出会う

子育て

- 子育て中のお母さんと終了したお母さん
- 育児をしているお母さん同士。お手伝いできる先輩お母さんのつながり
- 一人暮らしのお年寄りの方とか、引きこもりがちのお年寄りの方が集まれる場所
- 子どもと高齢者、昔遊びを通じて小松を知る
- 介護をしている人と介護をされる人、情報発信と困っている人の相談きっかけ
- 子どもたちと高齢者の方

- 子育てママどおし、栄養士さん講師で絵本に出てくる料理作る
- 若いママさん、赤ちゃん一人で育ててる
- 子育て終わって自由な時間がある方
- 若いお母さんたちと高齢者の方
- 子どもと遊ぶことのできる大人
- 場所の提供（⑥「出会い、交流、つながり」）
- 年代別の子どもを持つ親の悩み相談会
- 障害者の子どもを持つ親達の気軽に話し合える場所。又は、子ども達（障害者）も気軽に来られる場所

グループ⑦「ダイバーシティ、インクルーシブ（多様性、社会包摂）」

→「すべての人（世代、身体的特徴、性別、国籍）と一緒に楽しく幸せに過ごす場所をつくる」

- 一つのテーマに深掘りできる
- 書籍のコーナーを作る
- （いきいきクラブ）老人会、子供会との交流の機会（昔の暮らし、言葉、食物）
- 0～100歳まで交流
- 世代ごと遊び
- わだかまりなく交流
- 子どものあそび場、インクルーシブ公園
- 健脚体操（小松市）
- 絵本の読み聞かせがある
- （保育園で）将棋、オセロ、駒まわし、おはじき、紙芝居、あやとり
- 料理作る
- 障害者体験

- 健常者への周知
- 障害者からの意見を聞く（どんな図書館が良いか？）
- 外国籍の児童が、読みやすい本を置く
- 外国人にやさしい図書館（小松の特徴にあった内容表記）
- ブラジル人が40%以上いる現状にあわせて英語以外にやさしい日本語案内
- 母語が学べる本を増やす
- 各分野のエキスパートを発掘
- 若い人（20～40）特殊詐欺防止講座（警察）
- 駐車場からの動線
- 環境整備（車いす：スロープ、盲：展示、ろう：字幕）

- 車イスでも楽しめる
- 自閉：パーテーション
- AI活用し共有し会話
- その場所に通訳できる力を持った人を配置する
- 通訳者を育てる（対象者と多数派の）
- 市民活動はいろいろある。子育てetc. そういう活動の交流
- 障害を持つ人たち、そういう障害を支えるサークルもある（手話や通訳etc.）そういうサークルとの交流の場
- 聴覚障害や高齢の方には筆談のサービスも

グループ⑧「新しいスタート、チャレンジ」

- あらたに議会図書館をつくろう
- 「本」を置かない
- 本がメインじゃない場づくり
- 大画面で世界旅行
- 小学生子ども情報発信基地（全世界と結ぶ）
- 世界とリアルタイムでつながっている
- 世界から人が集まる人の交流館
- 景色を感じる公園（木場潟、海岸、芦城公園）
- 静かなところと熱狂の場所の共存
- 場所、自然と共存（山・川・湖・町）
- いろんな施設を統合してしまおう
- AR図書館→映像
- 図書館学校世代を超えてつながりを持てる場所
- 時間、早朝から最低10時間くらいまであけて欲しい
- 県立図書館等から本を借りれる様にする
- 楽しい場所に
- 世界の最前線の先生から直接子どもたちが教わる

以上